

市川組合長

JAの自己改革について学び
地域農業を応援しよう



市川 耕一
代表理事組合長

気候の変化や市場の動きなど、農業を取り巻く状況が変化する中、地域の食を支える担い手の役割はますます大きくなっています。

当JAでは、「豊かな農業づくり」をめざし、持続可能な農業の実現に向けてさまざまな取り組みを行っています。

担い手支援

営農職員の土壌医資格の取得

土壌医は、土壌診断にもとづいて、作物の健康な育成のために適切な土づくりや施肥改善の指導を行うことができます。当JAでは、令和6年度から営農職員の土壌医資格の取得に力を入れており、生産者への適切な指導につなげています。

令和6年度は20人が土壌医資格を取得しました。
今年度はさらなる知識向上に向け、上位資格の取得にも取り組んでいます。

女性のアグリスクール

女性を対象に地域農業や食への関心・興味を深めてもらうことを目的に平成29年から開校しています。初級編では農業の基礎を学び、初級編を終了したスクール生は中級編で産直施設やインショップ等への出荷を目指します。

今年は初級編に15人が入校しました。



担い手育成

瀬戸農業塾

市と連携し、瀬戸地域での新たな農業の担い手や地域農業の振興を目的に平成24年から開校しています。約1年間、育苗や栽培、農薬など、農業に関するさまざまな知識を深めます。

今年は9人が新たに入学しました。



尾張旭市農学校

市と連携し、新規就農を目指して平成27年から開校しています。畑作業の基礎から産直施設への出荷など農産物の販売方法まで、3年間かけて農業に関する一連の作業を学びます。

今年は4人が新たに入学しました。



令和6年度は女性のアグリスクール・瀬戸農業塾・尾張旭市農学校の卒業生13人が、新たに産直への出荷を始めました。

新規産直出荷者は令和5年度から6年度にかけて増加しており、この2年間で120人以上の方が仲間となりました。

新規産直出荷者数



たくさんのご意見・ご要望をよろしくお願いいたします

各支店・店舗・センターにご意見箱を設置しています。
なお、ぐりんぶらざのクロスワードパズル応募用紙はご意見箱からもご応募いただけます。
ご意見箱からの応募で当選率アップ!!
皆様からの貴重なご意見・ご要望をたくさんお待ちしております。



この箱を
見つけて
ください！

JAあいち尾東の自己改革に対する
ご意見をお待ちしております。

<https://www.jaab.or.jp>



【組合員限定】
ぐりんぶらざ
自己改革の取り組みに対する
ご意見およびクロスワードの
応募はこちら

このボタンを
クリック